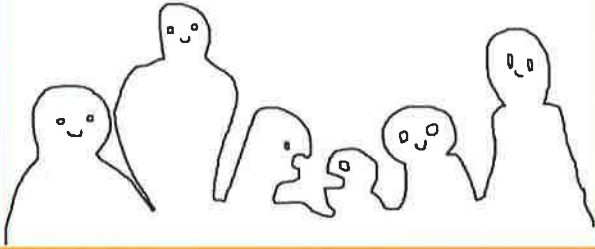


わたしたちの暮らしている社会には  
いろいろな人がいます。  
暮らしにくさを感じている人って、  
どんな人でしょう？

高齢の人、妊婦さん、小さい子供を  
連れてくる人、怪我をしている人、  
そして障がいのある人

障がいがある人の感じる暮らしにく  
さは、その人の障がいだけが原因で  
はなく、社会の側にバリア（「社会的  
障壁」）があるからです。

障害者差別解消法は障がいのある  
人もない人も互いにその人らしさを  
認め合いながら、共に生きる社会を  
目指し、「障がいを理由とする差別」  
をなくし、誰もが暮らしやすいまちを  
つくるための決まりを定めています。



いっぽふ だ むずか かん  
一歩踏み出すことを難しく感じる  
ひと  
人もいるかもしれません。でも…

こま  
「困っているときはみんな  
おたがいさま、助け合おう」

おも いっぽふ だ ちから  
そう思えば、一歩踏み出す力に  
なりませんか？

しょうがいしゃさべつかいしょうほう かん といあわ そうだん  
「障害者差別解消法」に関するお問合せ・相談  
かまがやし けんこうふくし ぶしょう ふくしか  
鎌ヶ谷市 健康福祉部障がい福祉課  
かまがやししんかまがや  
〒273-0195 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-6-1

ほうりつ かん といあわ しよむがかり  
法律に関するお問合せ：庶務係

☎ 047-445-1305（直通）

✉ syougaisyomu@city.kamagaya.chiba.jp

さべつ かん そうだん しえんがかり  
差別に関するご相談：支援係

☎ 047-445-1307（直通）

✉ syougaisien@city.kamagaya.chiba.jp

しょう ふくしか  
障がい福祉課FAX 047-443-2233



しょうがいしゃさべつかいしょうほう  
障害者差別解消法について、くわしくは  
かまがやし らん  
鎌ヶ谷市ホームページをご覧ください。



<http://www.city.kamagaya.chiba.jp/kenko-fukushi/shougaishafukushi/sabetsukaisyou-syo.html>

しょうがいしゃさべつかいしょうほう  
障害者差別解消法ってなあに？



しょうがいしゃ  
障がいのある人もない人も、  
かまがやし  
暮らしやすいやさしい鎌ヶ谷に

しょうがいしゃさべつかいしょうほう  
**障害者差別解消法ではだれに**  
 もと  
**なにが求められるの？**

対象機関 たいしょうきかん	国の行政機関・ ちほうこうきょうだんたい 地方公共団体など (役所など)	事業者 じぎょうしゃ
不当な差別 てきとあつかい 的取り扱い	<b>禁止</b> きんし	不当な差別的取り扱 あつかい いが禁止されます。
合理的配慮 ごうりてきはいりよ の提供 ていきょう	<b>法的義務</b> ほうてきぎむ	<b>努力義務</b> どりよぎむ
障がいのある人に たいごうりてきはいりよ 対し、合理的配慮 の提供を行わなけ ればなりません。		障がいのある人に たいごうりてきはいりよ 対し、合理的配慮 の提供を行うよう に努めねばなりません。

ふとうさべつてきとあつかい  
**「不当な差別的取り扱い」の禁止**

くにとどうふけんしちやうそんやくしょかいしゃみせ  
 国・都道府県・市町村などの役所や、会社やお店などの  
 事業者が、障がいのある人に対して、正当な理由なく  
 障がいを理由として差別することを禁止しています。

たとえば・・・

- × 介助者が一緒にいないとお店に入れない。
- × 本人を無視して、付き添いの人だけに話しかける。

ごうりてきはいりよ  
**「合理的配慮」の提供**

しょうがいのある人からしゃがいなか  
 障がいのある人から社会の中にあるバリアを取り除く  
 ために何らかの対応を求める意思があった時に、負担  
 が重すぎない範囲で対応することが求められています。

たとえば・・・

- 段差がある場合、スロープなどを使って補助をする。
- 自分で書くことや意思伝達がむずかしいと伝えられた時に問題のない範囲で、代筆や端末機器などで対応する。

**わたしたちに  
できることって？**

てあしふじゆう  
**手や足などが不自由なひと【肢体不自由】**

- ・ さりげなく声をかけて、困っていることを尋ねる。
- ・ 車イスの場合、人力で移動を補助する。
- ・ 多目的トイレを必要とする方が優先的に使えるようにする。



めふじゆう  
**目が不自由なひと**  
**【視覚障害：全盲、弱視など】**

- ・ 書類を渡すときに内容が分かるように読み上げる。
- ・ 案内するときには、わかりやすく、具体的な言葉で説明する。
- ・ 案内を頼まれたときは、どのようにしたら良いかをまず確認する。



みみふじゆう  
**耳が不自由なひと【聴覚障がい】**

- ・ 「手話」や「筆談」、「口話（口の動きを読む会話）」などを使ってみる。
- ※ 「口話」する場合は、口を大きくあけて、ゆっくりと話す。
- ・ 「筆談」する場合は、短く区切った文章や写真・絵など、目で見てわかる手段で伝えてみる。



はつごふじゆう  
**発語が不自由なひと**

- 【言語障がいなど】
- ・ ゆっくり傾聴する。
- ・ 筆談できるように、メモ等を渡す。



ちてき ほんたつ おく  
**知的な発達に遅れがあるひと【知的障がい】**

- ・ 話すときは、やさしく・ゆっくり・はっきり・ていねいに・わかりやすい言葉で説明する。
- ・ 漢字にふりがなをふる。
- ・ 相手がゆっくりかえって言葉を返すことができるようあせらずに待つ。
- ・ 成人を子ども扱いしないようにする。



せいしんしょう  
**精神障がいがあるひと**

- ・ 穏やかにゆっくり話し、せかさないようにする。
- ・ 大事なことはメモして渡す。
- ・ パニックになった場合は穏やかに話しかけて、落ち着くのを待つ。



しんぞう  
**心臓などの内部に障がいのあるひと**

- ・ ハート・プラスマークを身に着けている人を見かけたら、電車やバスなどの席を譲る。
- ・ 優先席付近などでは、携帯電話等の電源を切る。



ハート・プラスマークは、心臓など内部障がいがあることを示すマークです。

げんいん ちりょう ほうほう かくりつ  
**原因も治療の方法も確立していない**

びょうきのひと【難病患者】  
 難病には、様々なものがあり、同じ病気でも人によって症状が違うこともあるので、さりげなく声をかけて、困りごとを聞いてみる。

